



医歯学総合研究科大学院特別講義／お茶の水ニューロサイエンスセミナー
(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論) (医歯理工学先端研究特論)

医学における AI の活用～ てんかん・睡眠障害を例に

演者

藤原 幸一先生

名古屋大学大学院 工学研究科准教授

日時

2019年7月2日(火)18:00～20:00

会場

M&D タワー2階 共用講義室2

講演要旨

てんかん発作前には心拍パターンが変化することが知られているため、我々は心拍変動解析とAI技術を融合させることで、発作前に発作を予知できるアルゴリズムを開発した。このように、医療分野にもAI技術の導入が進んでいる。本講演では、医療AIの利活用を目指して、機械学習やAI開発の基礎から、てんかん発作予知などの医療AIの応用例について講義する。

多数の皆様の御来聴をお願い申し上げます。

連絡先：脳神経機能外科学分野 唐鎌 淳 Tel: 5803-5266

ONSA (代表：神経病理学分野 岡澤 均)
事務局：神経機能形態学分野 (田口・寺田) phone: 03-5803-5149
FAX: 03-5803-5151, E-mail: onsa-office@umin.ac.jp